とかち新聞
主筆　松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
本紙購読料　1カ月100円　1カ年前納1、000円

構造改善事業を決定

チップ工場を上利別に

足寄町森林組合の第十二回通常総会は二月二十五日午前十時四十分から公民館に組合員八百十名のうち四百五十名（委任状とも）が出席してひらきました。

小林組合長（町長）の開会あいさつにつづいて議長に星孝一氏を推して議事に入り、有本参事から各議案について提案説明がありました。

はじめに昨年度の業務報告書を議題にして、大塚監事から『その内容は正確適正であることは認める、四十三年に五百五十一万円の赤字を出して困難したが出資増口や役職員、組合員の協力で一昨年は三百七十三万円に減り昨年は百五十五万円になった』との報告があつて質疑に入りました。

ー事業管理費が縮小されたのは結構だが、すくなくした考えをききたい

有本参事　私が二月いつぱいで定年退職するので給与をみていない

ー赤字で職員をイシュクさせてはならない、参事の退職は淋しいが、チップ工場の建設となるが原料の五〇％は外材となり本州、十条、王子、大昭和が池北線に殺到している、あとは常務かほかの理事が担当するのか、どう乗り切るのか

小林組合長　私どもも心配しており、あとの補欠役員選任の議案で申しあげたい

などの発言があつてこれを承認、ついで本年度の事業計画書も原案どおりに決定、つづいて組合員にたいする貸付金限度額、手数料賦課金など七議案を一括上程して議決したあと、問題の「林業構造改善事業について」を上程しました。

森林組合の総会で

養成から資金の面もほかの森林組合も一応会社がしており、認可となればこの方向へすすめたい

ー資源調査をおこなつたと事業報告に出ているが、建てても継続できるか、職員を休ませられない、幕別の道森連の工場も音更の組合の工場も相当な面積で土場の確保が必要だが、

（森林組合の総会）

して工場がくるまで地価があがつては困る、受け入れ体制はどうか

有本参事　上利別の受け入れ体制は小尾さんから

小尾英夫氏　一町村の森林組合では容易でなく、陸別町が双手をあげて賛成し上利別よりさがれない、本別は保留となつた、昨年の総会では上利別に大半が賛成して議決された、地形や交通状態を調べて最適地とされた、所有者も賛成され内約だが正当価格で予約し耕作権を放棄して離農して整地されている、取得価格を発表して総会の同意を得たい

有本参事　公式には認可を得ていないので公表しないで理事会にお任せねがいたい、三月の審議会を刺激したくない

小尾英夫氏　所有者は当然組合に協力し昨年から耕作せず早く正式に契約してほしい、認可にならないうちに官庁へ都合が悪いのなら、取得価格を理事会に一任することを総会で決めたい

有本参事　土地の問題は理事会に一任として承認を得たい

などの論議があつて画期的な構造改善事業を決定しました。

有本参事が退職して常務理事に

ついで補欠役員の選任の件を上程

近藤常務　役員の任期は三年で、四十四年の総会で改選され、定員は理事十一名、監事三名だが、承諾を得た理事が一名欠員（畠正吉氏）となつている、有本参事が二月いつぱいで定年退職されるが林構事業は有本氏が専任であたつてきており、私のように非常動の常務では万全を期せられないので私が常務理事を辞任し、補欠に有本氏を理事に選考し常務理事になつていただきたいと理事会にはかつた、諒解していただきたい

との提案に異議なく賛成役員報酬六十八万五千円を決めて議事をおわり、来賓の小林支庁造林係長、船水林業指導所長から祝辞があり、小林組合長の閉会あいさつで午後二時十分に昼食ぬきでの総会をおえました

きびしい中国の態度

自民党の藤山愛一郎元外相の一行も中国の周恩来首相以下のきびしい佐藤政府非難を受け入れて、覚え書貿易の継続にホッとひと息。

× × ×

日本軍国主義の復活への非難を否定したいのなら、アメリカとの軍事同盟をなくして、アメリカとも中国ともソ連とも対等中立でなかよくしていくのでなければ

× ×

ベルギー国内でも天皇の訪問に反対運動がおきているように、あの狂暴だつた日本軍国主義への警戒心は決して弱まつてはいないこと

三カ年で一億一千万円

この事業は四十五年に地域指定をうけて計画申請をしていたもので、四十六年から三カ年にわたつて三ー四ー三の割合で実施するもので、町が事業主体とする分収林造林、生産基盤の整備、山菜加工場が五千百万円、森林組合が事業主体となる素材生産施設、造林施設、チップ生産施設、作業道開設用機械施設その他協業推進事業などが五千八百万円となつています。

この事業費は国費補助五千九百万円、道費補助二千三百五十万円、町費一千三百三十万円、公庫資金一千七百五十三万円、自己資金四百六十七万円となつています。

このうち本年はチップ工場に二千九百八十一万円、種苗施設の排水に一千七百五十七万円、造林施設の刈払機、日立機に一千百六十万円塩幌分収林調査に七万二千円、明和川谷の源線林道に二千八百万円、山菜加工場に一千九十三万七千円チェンソーなどに一千二十一万三千円、明後年は八木沼の線林道に一千二百二十三万円、トラクターなど六百二十二万円、たい肥舎など六百十六万八千円、輸送車など二百十七万七千円、測量器具など四十二万円となつています。

ーチップ工場は長い間の計画だが、大昭和製紙が機械を施設するのか

有本参事　これは最終的折衝にまで決つていない、設計は白老のチップ工場長が協力し、試運転や技術者

本別ー足寄ー陸別

計画集荷に成否

三町浄化センター

下愛冠に昨年末に完成して試運転中の池北三町浄化センターでは、二月中旬からいよいよ実施段階に入り三業者（本別ー加藤勝栄氏、足寄ー金森栄氏、陸別ー中島義雄氏）がそれぞれ集荷したし尿の投入がおこなわれています。

センター組合議会では、四月からのいつせい集荷を前にして運営の万全を期して特別委員会（長谷川義信委員長）を設置して先進各市町の状況を調査した結果をもちよつてこのほど委員会をひらいて協議しましたが、くみとり料金はこれまでの一万二千五十銭（全道中位）をそのままうえおきとして議会に提案することにして、三業者の協力を求めることにしました。

四月からの運営にたいしての問題点は計画集荷がスムーズにおこなわれるかどうかということで、これまでは三町とも各家庭からの申し込みによつて業者がくみとりに出向いたし尿を〃青空投棄〃していたものを現在、将来の入口動態を勘案して施設した浄化センターにあつめて完全な終末処理をおこなうことになるので、一日三〇㎥の処理能力に合せた計画集荷が絶対の条件となつています。

このために四月からは、従来のように各家庭で便槽がいつぱいになつたから業者に電話をしてくみとつてもらうのではなく、あらかじめ定めた各町の計画日程によつて各町内毎に年四回づつ業者が順次くみとりにまわることになります。

この方式が軌道に乗るためには地域住民の協力が得られなければとー各町ともこれからのPRに力を入れることにしていますが、先進市町でもはじめのうちは申し込みもしないのにくみとりにきたから料金は払わないと文句の出た例もあつたそうでー四月からの三町浄化センターの環境衛生近代化へのスタートが注目されます。

消防長の報酬が問題に

三町消防組合

三町消防事務組合では二月十日の初議会で「非常勤職員に対する報酬および費用弁償の支給に関する条例」を議決して消防長の年報酬を五十万円としました。

これは消防長の幡省三氏（医師のため非常勤）にたいしてこれまで本別町では年報酬として二十五万円を支給していたので、事務局ではこの額を原案として提出したところ

一、本別町ではこのほかに年末手当として十五万円を支給してきたこと

二、非常勤職員に年末手当を支給するのは合法的でないので、このさいその分を報酬に加えた方がよい

三、こんどは三町の消防長になるのだから、このさいいくらかアップすべきだ

ということで五十万円になつたもの。

ところが教育員長や農業委員会長などの非常勤の特別職は日額報酬で一千七百円程度なのにたいして、幡消防長の場合はかりに一週間に一度出勤するとすれば日額にして一万円以上になる勘定で、他の公職者とのあいだの格差がありすぎるということ。

もともと消防長は一般職なので常勤が原則で、常勤の消防長をおかない足寄町の場合は小林町長の兼務にして人件費を切りつめてきたものの、三町の広域消防ともなれば片手間の非常勤ではなく専任の消防長をおいて常時陣頭指揮で消防体制の強化、推進をはかるようにというのが道の指導でしたが、なにしろ三町の〃家庭の事情〃で一昨年には組合消防本部の設置場所をめぐつて本別と足寄とが対立してアワヤ決裂となつたときに陸別が仲裁役となつて本部は足寄、初代消防長は本別からという妥協案でまとまつた〃産物〃だけになにかスッキリしないスタートぶりといえましよう。

上利別はどの方向か、私有地か町有地か

有本参事　私有地で個所は一昨年の総会で申しあげたが（大道寺氏所有地）町としても中心地であり、芽登やラワンからも便利がよく、陸別町森林組合との約束もあり上利別とした、価格や公害も考え将来の地帯と考える、コンサルタントの資源調査では指摘事項はなく異議のない判断と考えている

ー上利別は不適とは申さないが、決つたと仮定

◎造材
マツカラーチエンソー
スチールチエンソー
共立チエンソー
◎造林
イリノ共立
日立ロビソ刈払機
◎建設
日立マキタ神鋼
電動工具
◎酪農
◎モーアグラインダー（研磨用）
農業用絶対品！　神鋼印新型
◎チエンソー中古整備品あり
日本一長運斉各種刃物代理店

機械の修理は迅速低格！　誠実本位！
有限会社　鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　T　2307

春も近づいて参りました。衣替のシーズンとなりました。春物既製品が全部揃いましたので御来店御用命下さい。
新入学用品もランドセルから高校服までお早くお求め下さい。
新中女子制服、足高女子制服、別注受付中。
株式会社　前田呉服店
足寄駅前商店街　電話二〇二二番

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

技術に生きる！
世界の　ビクター　マーク
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
ーあらゆる電気器具ー
有限会社
ミネ・デンキ
足寄劇場前　電話2642番